

(様式 1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
高志の国文学館 文化振興室文化政策課

2 施設所在地
富山市舟橋南町2番22号

3 施設設置年度
平成24 年度

4 設置目的
富山県の自然及び風土の中ではぐくまれた文学作品その他の文学関係資料を紹介し、文学に関する県民の知識を深め、教養の向上を図るとともに、県民自らが親しみ、学び、創造し、交流することができるよう、県民に文学を中心とする文化活動の場を提供し、もって教育、学術及び文化の振興並びに心豊かな地域社会の形成に寄与することを目的とする。

5 施設概要
【建物構造】
地上2階 RC構造、一部SRC、S構造
・建築面積 2,738㎡
・延床面積 3,070㎡
・敷地面積 13,729㎡
【主な施設】
・常設展示434.33㎡ ・企画展示237.08㎡
・ライブラリーコーナー165.05㎡ ・親子スペース51.95㎡
・普通収蔵庫 ・特別収蔵庫 ・研修室(5室)、和室(1室)[貸室]
【開館】
平成24年7月6日

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
3 年
令和7年4月1日 ~ 令和10年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
58,868	70,089	94,210	96,968	103,799

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

R3	R4	R5	R6	R7
6,466	8,162	9,545	9,396	12,067

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R3	R4	R5	R6	R7
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

室井館長の企画イベントや企画展関連事業等が多く開催され、初めて文学館を訪れたと言う声も多く聞き「賑わいづくり」に務めた年であった。引き続き魅力ある企画展、使い易い研修室であることをPRして利用者数増と収入増加に努めてほしい。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・富山県文化振興財団が同様に管理する教育文化会館と連携して、周辺道路や駐車場の混雑渋滞を緩和するための誘導整理員を配置している。また、冬期に共同で除雪業者を手配し、通路や駐車場の確保に努めた。
- ・高齢者や体が不自由な方への介助技術やホスピタリティを学んだサービスケアアテンダント資格者を配置し、接客にあたっている。
- ・インバウンドに対しては、専用端末を利用した外国語通訳で対応している。
- ・ミュージアムショップでは、企画展、文学講座等に関連した商品をリサーチし、品揃えの充実を図っている。
- ・ライブラリーコーナーに県の観光情報誌やイベント案内、新聞誌、雑誌を配置するとともに、煎れたてのコーヒー、カフェラテを販売し庭園を眺めながら寛げる空間を提供している。
- ・観覧券やミュージアムグッズを購入する際にクレジットカード、電子マネー、PayPay、LINEPayなどの決済サービスに対応できるようにしている。
- ・友の会や県が主催するイベントの開催時において、会場、音響設備、照明設備の設営や運営に協力し、来場された方々の満足度向上に努めている。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・富山県が導入した研修室等の予約システムを積極的に活用し、オンライン予約等により施設利用が高まった。
- ・アンケートや研修室等の利用者からの直接聞き取りによる意見をこまめに把握して施設運営に反映している。
- ・文芸団体が計画的に研修室を定期利用できるように利用抽選会（年2回）を行っている。
- ・児童対象の「読み語り会」を月1回開催しており、開催10年目を迎えた。構成も来場者に喜んでもらえる内容に吟味したほか、会場となる親子スペース室の賑わいづくりに取り組むなど、さらなる来館促進に努めた。
- ・県や各種団体が推進する「まちなかぐるっとアートチケット」「北陸3県dayパス」などの様々なサービス向上事業に協力している。
- ・令和7年度も未就学児童を対象に県内でも有名なメンバーによる「親子で一緒に楽しむArt&Tone」公演を行った。本公演をきっかけに初めて文学館を訪れた方も多く、幅広い世代の方々に楽しんでもらえた。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：展示部門・研修室（貸出）部門＝アンケート用紙を配布
回答者数	展示部門809名 研修室（貸出）部門713名
結果	施設的环境/ 良い以上 【展示部門】94% 【研修室部門】94%
結果を踏まえた改善事項	研修室101のP JがHDMI対応になっていないとの意見に応え、県による機器の更新を要請し実行された。

②その他利用者の声を反映させる取組み

・アンケートの結果や利用者から直接要望（生の声）を受ける監視員や受付スタッフからの報告内容を取りまとめ、全職員で情報を共有している。利用者からの意見又は提案について、改善又は反映方針を協議し、適切に対応している。

・上記で改善が図られた内容を盛り込みながら、監視員用接遇マニュアルを随時更新し、スタッフのレベル向上に努めている。

③主な苦情と対応

苦情なし

(5) 個人情報保護の取組み

研修室の利用申請や団体見学予約の手続き、イベント参加に係る個人情報の取り扱いについて、財団個人情報保護規程に基づき、適正に管理している。

(6) 関係団体との連携

県内美術館、博物館及び公立文化施設と連携して、広報（情報発信、郵送）やロビーコンサートを開催するなどネットワークを活用した運営を図り利用促進、活性化に努めている。

(7) 施設・設備の維持管理

専門業者による保守点検のほか、職員による自主点検を実施するなど適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・文学館職員の他、委託業務従事者（警備、清掃員）を含めて自衛消防隊を編成し、年1回の総合消防訓練を実施している。

・消防設備（法令）点検を行うとともに、非常災害時のマニュアルや緊急連絡表の整備及び富山市消防本部査察課による立ち入り検査に対応している。

・各種感染症が蔓延していることから、アルコール消毒液の設置を継続している。

・不特定多数が訪れる施設であるため、事務室内や警備室内への立ち入りを一部制限している。

・指定管理者において作成した熱中症への対応フローを職員に周知するなど、熱中症対策の強化を図った。

10 所管課の管理運営確認状況

	有／無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	1
③個人情報に関するトラブルの有無	無	0
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	0

【トラブルの具体的内容と対応】

なし

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・建物や空調設備等の故障も多く、また老木の倒木もあり、あらゆる箇所において経年劣化(14年経過)が見られるようになってきた。利用者の安全・安心・快適を第一に考慮して修繕の対応に取り組んでもらいたい。

・県と連携し、室井滋館長の運営方針に沿いながら施設の魅力向上と情報の発信に努めるとともに、小さなお子様から高齢者まで幅広い世代の方々に足を運んでもらえるような利用促進イベント等を企画し、施設の更なる活性化に取り組んでもらいたい。